

どうやって映画は作られるのか？ 映画撮影に密着



「地産地消だから喜んでもらえる」と鶴会長。大量の食材にも「木の香マラソンのときはもっと大変」と笑顔。



スタッフ約40人分の昼食は「大川市健康を守る婦人の会」のみなさんが毎日手作り。温かくておいしい口ケ弁が、映画制作の活力を生んだといっても過言ではありません。いちご生産農家からの協力によるあまおうも大好評でした。



市民のみなさんへのインタビュー撮影も実施。

豪華出演者も裸ん行に参加しました!!
左からコンパクト満さん、佐田正樹さん(バッドボーイズ)、岡慶悟さん。岡さんの祖父は大川市出身とのこと。映画がつなく不思議な縁を感じます。



市内居酒屋での撮影シーン。



裸ん行のあとに行われた、マスコミ向けの出演者インタビュー。



待ち時間にテレビ局の取材を受ける出演者。映画制作のニュースはその日のうちに放送され、反響を呼びました。

START

12/1 吉本興業と打ち合わせ



いい映画にしましょう!

市からの熱いラブコールに、ついに吉本が動いた!! よしもとの担当、村田さん(大川出身)もこの笑顔。

12/22 シナリオハンティング
通称「シナハン」



1/13 実行委員会

制作に関わる実務的な協議を行います。



「本当に映画撮影ができるのか」まだ下見の段階ですが、関係者がこのとき感じたまちの情熱・温かさが映画の方向性の決め手になりました。

1/27 ロケーションハンティング
通称「ロケハン」



映画を撮影する場所「ロケ地」を探します。民家や店舗にも協力をお願いし、綿密に打ち合わせます。

1/28 オーディション

監督が「こんなことがあるのか」と驚くほど、レベルの高いオーディションで、魅力的な出演者が揃いました。

2/6 クランクイン



撮影開始を意味する「クランクイン」は、手回し撮影機の取っ手(クランク)が語源。デジタルが主流の現在でも一般的な単語です。

2/9 クランクアップ



GOAL 完成した映画は3月の映画祭で上映されるほか、今夏には市内外での凱旋公演を予定。